

MUSEUM CRUISE GUIDE BOOK 2021-2022

「ミュージアム・クルーズ」

ガイドブック

2021 - 2022

21 



もくじ

p.01 — はじめに

p.02 — 「ミュージアム・クルーズ」とは？

p.04 — 1日の流れ

p.06 — 「ミュージアム・クルーズ」のツール

p.08 — 参加者アンケート「まるびいへお手紙を書こう！」より

p.10 — 学校関係者アンケートより

p.12 — クルーズ・クルーについて

p.14 — スタッフエッセイ 2021年度のミュージアムクルーズ

付録：2021年度「ミュージアム・クルーズ」ポスター



## ようこそ！金沢21世紀美術館へ 「ミュージアム・クルーズ」の出会いの旅へ

「ミュージアム・クルーズ」は市内の小学4年生を金沢21世紀美術館へ招待するプログラムです。見て、感じて、考えるこのプログラムは毎年継続して実施しているもので、学校の先生や作品鑑賞プログラムメンバーの「クルーズ・クルー」、美術館のスタッフが協働して行います。金沢21世紀美術館は「子どもたちとともに、成長する美術館」をミッションの1つに掲げており、このプログラムは子どもたちだけではなく、大人が学ぶ機会にもなっています。

2021年度も昨年度に続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々なことに調整を要する年となりました。「金沢市内小学4年生全児童招待プログラム」と冠がついていますが、来館できなかった学校もありました。そうした状況下でも、子どもたちと作品とクルーズ・クルーが出会う場では笑顔や発見が生まれていました。今年は、来館した児童のうち約40%が初来館で、約95%の子どもたちが「また来たい」と答えてくれました。子どもたちがアートとの出会いを通じて何かを得る機会になることは未来への種をまくものであり、このプログラムを継続して行う理由の1つです。

このガイドブックは2021年度の「ミュージアム・クルーズ」を学校の先生やクルーズ・クルーの声とともに紹介するものです。また、付録のポスターには子どもたちが作品を鑑賞する様子や、言葉やイラストをまとめています。このガイドブックやポスターが様々な人にとって美術館を活用するヒントになれば幸いです。

### 「3つの出会い」が子どもたちを待っています

#### まるびい

「まるびい」とは「まるいびじゅつかん」である金沢21世紀美術館の愛称です。来館中、子どもたちはユニークな建築空間を体感します。

#### 現代アート

「コレクション展」や美術館に合わせて作られた「コミッションワーク」など同時代の様々な作品に触れます。

#### クルーズ・クルー

「旅の仲間」の意味を持つ多世代の作品鑑賞プログラム・メンバーは子どもたちが安全に活動し、気づきあえるように一緒に過ごします。



「ミュージアム・クルーズ」とは？



概要

金沢21世紀美術館は、活動の指針のひとつに「子どもたちとともに成長する美術館」を掲げています。その一環として2004年の開館時に「ミュージアム・クルーズ・プロジェクト」を実施し、金沢市内の小中学生約4万人が美術館を訪れました。この経験を活かし、2006年より金沢市内の小学校4年生を学校ごとに美術館に招待するプログラム「ミュージアム・クルーズ」を継続して行っています。「ミュージアム・クルーズ」は、子どもたちが少人数のグループでコレクション展を鑑賞し美術館を散策することで、感じる心を養い、地元の美術館に慣れ親しむ機会を生み出します。金沢市教育委員会や作品鑑賞プログラム・メンバーの「クルーズ・クルー」など様々な方々の協力のもと、「金沢で生まれ育った子どもはみな、大人になる前に美術館に行ったことがある」という社会環境をつくります。

2021年度データ

期間：2021年10月5日(火) - 11月2日(火) / 11月30日(火) - 12月23日(木)、  
2022年1月12日(水) - 1月20日(木) / 3月23日(水) のべ37日間実施  
参加：金沢市内の小中学校や特別支援学校 50校  
3,452名(内訳：児童 3,272名 + 引率 180名)  
作品鑑賞プログラム・メンバー「クルーズ・クルー」63名  
主催：金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団]  
共催：金沢市教育委員会  
助成：金沢ライオンズクラブ

目的

美術館における作品鑑賞を通じて  
“感じる心”を養う

- ・ 金沢21世紀美術館とコレクションを身近に感じ、大切に思う心を育てる
- ・ 世界のアーティストの様々な発想と表現に五感と身体全体で出会い、触れ合うことによって感受性、創造性、自主性、思考力、表現力を育てる
- ・ 色々な感じ方、見方、考え方、表現の仕方があることを知り、他の人の気持ちや考えを思いやる想像力とコミュニケーション力を育てる
- ・ アート(美術)が、世界の状況、社会の動き、情報、科学、文学、音楽、ダンス、演劇、人と人との関係や毎日の暮らしに深い関係をもっていることを知り、幅広い視野で学ぼうとする意欲や態度を育てる
- ・ 公共の空間でマナーを守りながら自由に楽しむ力を育てる

美術館における“子どもの鑑賞活動”を  
継続的に実施する

- ・ 美術館と学校による協力関係の継続・強化
- ・ 美術館における体験と、学校における授業との有機的な連携の推進

2021年度 年間スケジュール

ミュージアム・クルーズの1年間の流れを2021年度を例に紹介します。

	2021年					2022年						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校の動き		第1回検討会	会場事前視察延期 学校来館延期 6月15日・7月16日		会場事前視察延期	学校来館を延期 9月1日・9月30日	第2回検討会 前期 学校来館 10月5日・11月2日	会場事前視察		後期 学校来館 11月30日・12月22日	1月12日・1月20日 学校来館延期 1月21日・2月10日	第3回検討会 学校来館中止 3月8日・3月18日
クルーズ・クルーの活動		説明会・研修延期	クルーズ・クルー 説明会・研修		クルーズ・クルー研修			展示替え研修 クルーズ・クルー追加募集・研修				
美術館の動き			5月30日・6月13日 主催展覧会休場	6月15日 - 11月3日 コレクション展1「Inner Cosmology」 7月3日・7月11日 教職員対象 無料招待ウィーク①		7月31日・9月30日 主催展覧会休場		11月20日 - 2022年5月8日 コレクション展2「BLUE」 11月27日・12月5日 教職員対象 無料招待ウィーク②		1月6日・1月11日 金沢市小中学校合同展		

検討会

金沢市教育委員会が推薦する検討委員の小学校教諭(担任・図工専科)と美術館のスタッフがプログラム内容や鑑賞支援ツール内容などを検討しています。



検討会の様子

会場事前視察

子どもたちの来館前に、引率予定の教諭を対象に展覧会と活動場所の下見を実施します。下見の上、必要な学校とは個別調整を行います。



会場事前視察の様子

教員無料ウィーク

児童に配布する「もう1回券」で鑑賞できる特別展を、教職員は無料で観覧できる期間です。

## 1日の流れ

午前	午後	
9:15	12:45	<p><b>クルーズ・クルー集合、打ち合わせ</b></p> <p>来館する学校の情報や当日の館内の状況を共有 役割分担や自分が担う場所の確認 作品を子どもと楽しく見るには？といった鑑賞のポイントの相談</p>
↓	↓	
9:40	13:10	<p><b>子どもたち到着・挨拶</b></p> <p>広場にてスタッフと合流 入館後は荷物を預けクラスごとにクルーと移動 各クラスではじめの挨拶、館内の約束や集合時間などの確認 手指消毒とチケット配布</p>
↓	↓	
10:00	13:30	<p><b>鑑賞の時間</b></p> <p>子どもたちは3-4人のグループでコレクション展を鑑賞 クルーズ・クルーは各展示室で子どもたちを見守る 子どもたちはガイドマップやクルーの問いかけで考えを深める</p>
↓	↓	
↓	↓	



10:45	14:15	<p><b>探検の時間</b></p> <p>活動場所を交流ゾーンや広場に広げて探検 クルーズ・クルーも館内各所で子どもたちを見守る</p>
↓	↓	
11:15	14:45	<p><b>再集合、挨拶</b></p> <p>クラスごとに再集合 子どもたちの感想発表、「もう1回券」の説明や手指消毒</p>
↓	↓	
11:25	14:55	<p><b>子どもたち出発</b></p> <p>荷物を取って出発</p>
↓	↓	
11:30	15:00	<p><b>クルーズ・クルー振り返り</b></p> <p>その日の活動を振り返り、気がついたことを共有</p>
↓	↓	
12:00	15:30	<p><b>クルーズ・クルー解散</b></p>



### スタッフコラム

新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じてのミュージアム・クルーズの実施も2年目。今年「鑑賞の時間」のスタート時にグループごとに最初に見に行く展示室を振り分けました（例：1班は展示室1から、2班は展示室2から等）。分散することで密集密接を防ぐことはもちろんのこと、子どもたちも目的地が明確なことで慌てない効果がありました。これは2020年度にある大規模校の先生が行った事前指導を基にしたものです。先生の工夫も参考に子どもたちの時間をよりよくさせていただきます（M）



# 「ミュージアム・クルーズ」のツール

学校や美術館、家庭でも活動についての理解を深められるようにツールを制作しています。

## ガイドマップ

2021年度デザイン 前期: AYOND 後期: HAYASHI TAKUMA DESIGN OFFICE.

活動範囲やマナーの確認ができるほか、作品を鑑賞するヒントとして利用できます。

折りたたんで小学4年生の手やポケットにも収まりやすいサイズ(9.1cm×12.8cm)で制作されています。



## 活用例

- 学 校で 事前指導や来館後の振り返り
- 美術館で ミュージアム・クルーズ活動中の現在地の確認や意見交換
- 家 庭で ミュージアム・クルーズの紹介や振り返り

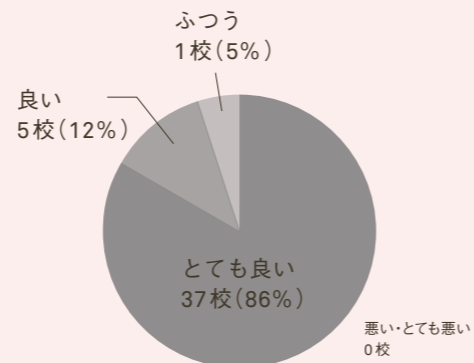
掲載内容: プログラム紹介、館内での約束、館内地図、作品写真やデータ、鑑賞を促す一言、探検の時間のオススメ、

もう1回券、もう1回券で見られる展覧会紹介

学校関係者アンケートより(43校回収)

先生からのコメント

- ・ガイドマップは写真もあり、クイズ、チャレンジもあり、楽しみにしていた。
- ・先生の誘導などなしで、ガイドマップをたよりに、自由に、自分たちだけで活動できることをとても喜んでいました。
- ・ガイドマップの時計・トイレ・展示室など子どもにもわかりやすく、マップを活用して鑑賞できました。



## DVD

制作: 金沢21世紀美術館 デザイン・編集: オフィスプランカ

子どもたちに美術館での活動内容や魅力を伝え、引率者が事前指導に役立てられるよう映像を制作しています。

今年度は①ミュージアム・クルーズ紹介 ②コレクション展紹介の2種を制作配布しました。どちらも3分程度で、

②は「ミュージアムクルーズでよく見て、感じて考えよう!」と題し、コレクション展で出品される写真を用いて見方の提示をし、「色」「形」「素材」に着目する例として恒久展示作品の動画を盛り込みました。

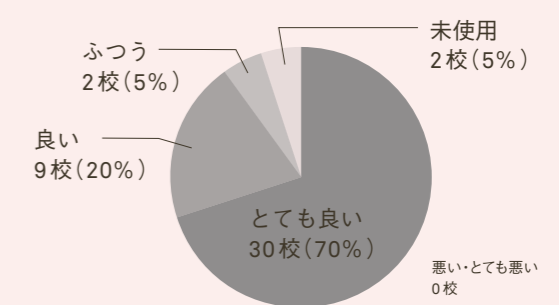
「ミュージアムクルーズでよく見て、感じて、考えよう!」



学校関係者アンケートより(43校回収)

先生からのコメント

- ・DVDの内容、長さ、ちょうどよかったです。
- ・DVDがとても分かりやすく、指導しやすかったです。
- 子ども達がワクワクするようなDVDでした。



## スタッフコラム

クルーが展示室で待ち受ける形式を初めてとった昨年度は、子どもたちが飽きないようにガイドマップにゲーム性を持たせようとビンゴゲームを模したものを作成しました。しかし、子どもたちが自主的に作品を見て周り話をする様子を見て、複雑なルールを設けるよりも子どもの好奇心を少し刺激するだけで良いと気がつきました。そのため、今年はあるべく作品写真を入れてシンプルな言葉がけへと変更しました。(M)

## 参加者アンケート「まるびいへお手紙を書こう！」より

1月末までに届いた47校、2702枚のアンケートを集計しました。

### 1) 「ミュージアム・クルーズ」の中で、心に残ったものは何ですか？それはなぜですか？

多くの子どもの心に残った作品の感想を一部紹介します



#### 草間彌生

##### 《I'm Here, but Nothing》

- ・いろいろな色のひかりでとらされていて、りんごがあおかったらりんごに見えないのに、ちゃんとそれぞれのものに見えたから。
- ・わけは、自分が回っているだけなのに、部屋全体が回っているようでとても不思議でした。



#### ダグ・エイケン

##### 《アイ・アム・イン・ユー》

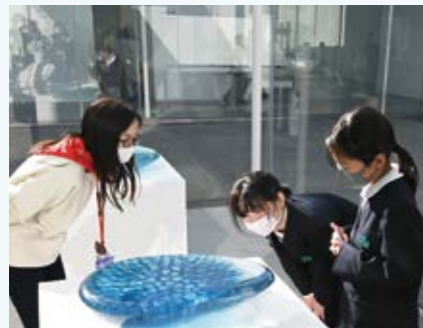
- ・はくりよくがあってちょっとこわかったし、じかんがくるっているようにみえておもしろかったです。
- ・音がきこえたと思ったら、きこえなくなったりたくさんがめんがあって、いっせいにうごきだして、すいこまれそうになったのが新かんかくだった。



#### アニッシュ・カプーア

##### 《L'Origine du monde》

- ・青の穴が周りの白いかべといっしょにみると、ころろにぽっかり穴があいてかなしい感じが私の心になにしていると思ったから。
- ・最初はあながあいていると思ったけど、あとから、あなはあいていないかもしれないと思ったり、あなの色はもしかして、黒じゃなくて黒に近い青かもしれないと思ったり、ふしぎなことがたくさんあって、おもしろかったからです。



#### 塚田美登里

##### 《Colony》

- ・水の中にえのぐがはいってすぐかたまつたほうせきみたいできれいだったからです。
- ・「光の受け皿」や「すいしょうでとじこめたイソギンチャク」と名前をつけたり、想ぞうをしたからです。

### 2) “まるびい”へ来たのは何回目ですか？

はじめて 1056人(39.1%)	2~3回目 863人(31.9%)	4~5回目 407人(15.1%)	6回目以上 353人(13.1%)	未記入 23人(0.9%)
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------------

### 3) また“まるびい”へ来たいと思いましたが？

思った 2,591人(95.9%)	思わなかった 20人(0.7%)	分からない 85人(3.1%)
----------------------	---------------------	--------------------

#### 思った

- ・色々な作品がおもしろくてみんなちがう発そうがあったり同じ発そうがあつてクルーさんと話すのもたのしかったからまだいけない所がいてみたいです。
- ・かぞくやちがう友達に、わたしがクルーズクルーになっていろいろしょうかいしたいし、自まをしたいからです。
- ・かぞくで、はなしあえていい気持ちになれそうだから。
- ・2時かんだけじゃなくて、3じかんも4じかんもいたかったからです。
- ・友達といつか行く約束もしたし、作品の何をしているかいろいろあつてわからないけど考えるのが楽しかったです。

#### 思わなかった

- ・なんかいもきたことがあるから。
  - ・ぼくはあまりびじゅつかんにきょうみがないからです。
- #### わからない
- ・ちょっと行きたいと思つたけどあまり外しゅつしたくないからです。
  - ・前に来た時はつまらなかったけど、今日は楽しかったからどちらともいえない。
  - ・家の人についてもいいって言うかわからない。

お手紙に描かれたイラストを一部紹介します。



#### スタッフコラム

子どもたちの心に残った作品を集計すると、部屋全体を使った作品や、音、映像、部屋の明るさなどを全身で感じるタイプの作品が子どもの心に残るようでした。現代美術館だからこそその出会いです。その一方で、絵画や写真など平面作品もぱっと一瞥して終わりではなく、グループでよく見て話していくことで「見えていなかったものが見えてくる」醍醐味があります。どちらも子どもたちに味わってもらいたい体験です。(M)



## 学校関係者アンケートより

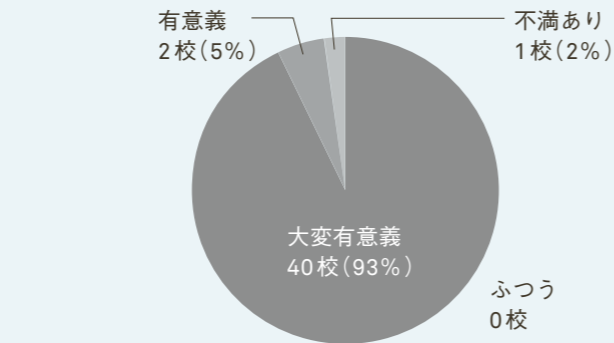
2022年1月末までに回答のあった43校のアンケート集計結果の一部を紹介します。

### 1) 今年度の「ミュージアム・クルーズ」に参加して、いかがでしたか？

子どもたちが楽しそうにしている様子、クルーとの関わり、本物を見る機会、見方や感じ方が広がる機会などを肯定的に捉えていただきました。

#### 理由(抜粋)

- ・学校では聞くことのできない意見をたくさん言っていました。感性が磨かれたと思います。少人数の学校なので他者とふれ合う機会が少ないので、とてもよかったです。
- ・子どもたちが学校での授業ではふれることのできない「本物の魅力」をぞんぶんに感じることができた。子どもたちは、作品をのぞきこんでいろんな角度から観ることができました。
- ・色々な作品を身近に感じ、楽しんでいました。見方、感じ方は一様ではないことが分かり、良い刺激になったと思います。
- ・子ども達が時間一杯作品を鑑賞し、とても楽しんでいる様子がわかったからです。これだけ熱心に鑑賞する子ども達にとっても有意義な1日でした。帰ってからもミュージアムクルーズの話で盛り上がっていました。作品だけでなく、クルーの方々



とお話できたこともとても楽しかったと言っていました。  
 ・今回のコレクション展1は子供たちには難しいのかなと思っていましたが、みんなとても楽しんでいました！子どもの素直な心に感心しました。そして子どもたちがスムーズに作品と向き合えるようにやさしく声をかけてくださったクルーさんたちに感謝です！

(不満あり)  
 本校が大人数だったのですが、他の大きな団体ともいっしょになり、鑑賞の雰囲気雑然としていたように思います。できれば、他団体(大人数)とはずらしてほしいと思いました。

### 2) プログラム継続の上での提案や要望などありましたら、お知らせください(自由記述)

#### 時間配分について

- ・「探検の時間」がもう少し長いと、全ての場所を見ることができるので、より良いと感じます。
- ・今年の様なグループ行動で周るのであれば、前半30分、後半45分の時間配分の方がよい。

#### 担当から

コレクション展をじっくり鑑賞してほしいことから前半45分、後半30分を基本タイムスケジュールにしているが、各校の希望により調整も可能です。会場事前視察前のアンケートや会場事前視察後の個別相談でご相談ください。

#### クルーとの関わりについて

- ・欲を言うならクルーを1グループ1人つけていただくと、子どもたちに確実に見方を提案していただけて、子ども達の学びにつながると思いました。

#### 担当から

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、今年度もクルーが展示室で待ち受ける形式を取りました。1グループに1人クルーがつく形式では長時間の会話をすること、グループあたりの児童数が多くなり展示室での密集をうみやすくなることから変更しています。来年度も状況を見ながら形式を検討します。

### 3) 来館時の時間の取り扱いについて教えてください

行事として	授業として	行事と授業として	未記入
4校	36校	2校	1校
うち、図工 36校 図工+学活 1校 図工+総合 1校			

### 4) 期待すること、目標やねらい、めあてなどを設定しましたか？

設定した	設定していない・未記入
32校	11校

### 上記の目標の達成度

達成した	ある程度達成した	あまり達成しなかった・達成しなかった
18校	14校	0校

目標やねらい、めあては自由記述で記入してもらいました。

「見る・感じる・楽しむ」といった鑑賞に関わることを挙げたのが23校、「話す・伝える・交流する」といったグループやクルーとの関わりに関することを挙げたのが10校、マナーや約束について挙げたのが11校でした(重複あり)

#### 具体例(抜粋)

- ・美術作品にふれ、友達と交流しながら、作品のよさや美しさ、面白さ、場所の雰囲気を感じ取る。
- ・①作品を鑑賞してクルーの方や友達と交流する(話す)こと。②前から横から見方をかえて鑑賞する。
- ③公共の施設の使い方、マナー等。
- ・美術作品に触れ、友達やクルーの方々との交流を通して見方、考え方を広げる。
- ・作品の見方や表現の仕方の工夫に気づく。色や形、素材の違いによる感じ方の違いに気づく。
- ・3つの約束を守り、たくさん話し合うこと。
- ・マナーを守っていろいろなもののいいところを見つけよう。
- ・自分の好きなorおもしろい作品を見つけて、友達や教師にどこが良いのか伝える。
- ・見て→いろいろな見方、感じて→色、形、印象、考えて→材料、作者の意図、伝え合う→みんなと交流・みんな違ってみんないい、の4視点で目標を決めた。
- ・自分が感じたことをウルーブの友達やクルーに話し、見方を広める。グループで協力する。
- ・クルーズを楽しみながらも、決まりを守ったり、自分たちで考えたりして行動する力をつける

## 作品鑑賞プログラムメンバー クルーズ・クルーについて

### 概要

「ミュージアム・クルーズ」では美術館を訪れる子どもたちと作品を鑑賞し、美術館体験をサポートします。解説のためのボランティアではなく、旅の仲間として子どもたち同士の対話を促し、安全を見守ります。

<b>応募条件：</b>	<b>今年度のクルーズ・クルー：</b>
20歳以上の方	参加人数は63名でした。
説明会と事前研修A・B・Cに全て参加できる方	男女比は1:9で例年よりも女性の割合が高い年となりました。
月2回程度、子どもたちとの活動に参加できる方	初参加者と経験者の割合は4:6でした。
※無償での活動です。	大学生の割合は15%でした。

#### 初参加のクルーズ・クルーの参加動機(抜粋)：

- ・小4の子供がいることと、金沢について学びたくて参加しました。
- ・ボランティア初参加。自分自身の一番苦手な事にチャレンジしようと思い参加を決めました。
- ・子どもさんたちと美術を感じてみたい(自分の子が大きくなってしまった…)。
- ・自分が小学生の時に参加していた、おもしろそうだったから。
- ・退職し時間に余裕ができ、今までと違う環境の中でいろいろな人との出会いをしたいと思いました。
- ・新しい何かを始めたいと思っていたところでした。



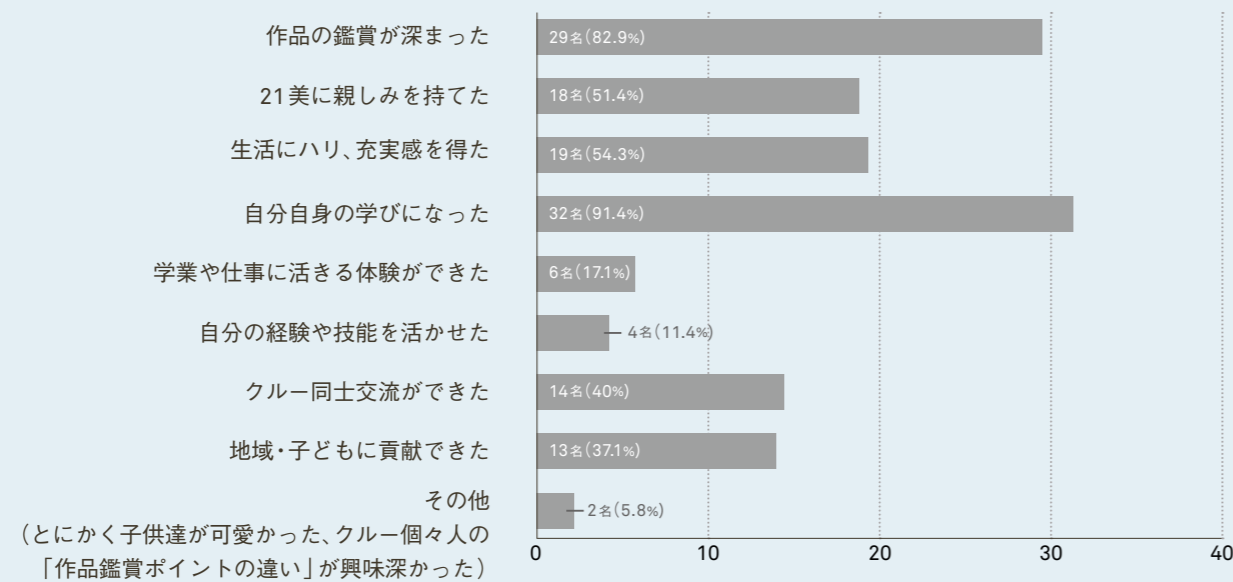
解散式にて



子どもたちを見送る様子

### クルーズ・クルーアンケートより(35件の回答)

#### 1) クルーズ・クルーとして活動に参加して感じたことがあれば教えてください(複数回答可)



#### 2) 今年度のクルーズに参加して、よかったことやあなた自身の変化はありますか？ あれば教えてください

- ・美術品を何回も味わう楽しさ、他人と感想などを分かち合うこと、子どもの視点の面白さ、などを知りました。
- ・作品をみんなで見ることの楽しさや、いろんな意見が次に意見を引き出すといった、作品との一体感を持ったコミュニケーションを体験できた。
- ・定点にいて、子供がやってくるのを待っている今の形式に慣れてみると、クルーに引率されて1度じっくり見る良さとは別に、自分達のグループで自由にルートを選んで、展示会場を2度3度回って見るのも、とても良いと思いました。子供たちは次々と違うクルーに出会って声掛けされて、作品の見方がとても上手になるようでした。クルーも子供たちも、出会いが多い方が双方とも良い刺激が得られたと思います。
- ・いろんな立場で活躍しておられる方々に出会えたこと。
- ・作品についてだれかと話すという今までした事のない経験ができ、とても楽しかったと同時に美術作品の見方が自分の中でも深まりいろんな角度から見れるようになった。
- ・自分自身が実際に参加させていただいたミュージアムクルーズに、今度はクルーとして参加して、子供たちに楽しみを届けられたことが一番よかった。
- ・元気いっぱいの子供たちと自由に話し合う時間が、とても楽しみです。時として、素直な感覚に、深い真実を見るような思いを持つこともあり、作品との向き合い方を考えさせられています。
- ・コロナのためこどもたちの行事が減っています。安全な校外活動のお手伝いが出来るのが子供たちにも私にもプラスになっていると思います。
- ・コロナ禍でいろいろなことができなくなっている状況のなか、私が楽しく過ごせる時間になりました。子どもたちにとっても、数少ない校外学習であったと思うのですが、これまで以上に言葉を交わすだけではなく、子どもたちの様子をよく見て、その動き、視線、つぶやきとかにとっても敏感になり、どういう風に関わろうかと考えるようになった気がします。話し方もテンション上げて、元気よくというより、穏やかに話しかけることも増えたと思います。
- ・コロナ禍で気持ちが減入りそうになる時でも、美術館の作品に囲まれながら子どもたちと触れ合えたことがとてもよかった。

#### 3) 今年度の子どもたちとの活動のなかで行なった工夫や印象に残ったこと、次年度への提案があれば教えてください

- ・話しかけられやすい人物像について考えた。自分自身がそうなりたかったと思った。マスクで隠れている部分も気を抜かず沈まず愉しげに。
- ・子供が2度目に来た時、3度目に来た時、(編註：鑑賞の時間に子どもが展示室を2巡、3巡する時)前とは違った視点で発見が出来るように問いかけをしました。初めて見た時の気持ちに重ねて、2度目3度目ともっと広く深く作品を見て、発見が増え共感が増えれば良いです。
- ・クルーも参加者なので、回数を経験しないと分からない所もあり、事前研修だけで理解は難しいと思った。あえて作者のタイトルを最後に見て、子ども達が自分でつけた場合の作品タイトルと比べたり共通点を見つけたりして、作者と子ども達が繋がれたらいいなと工夫しました。
- ・自分が話すのではなく、子供たちの話を引き出すための質問だったり会話を意識していた。
- ・前期の武田竜真の作品では、作品や作者の背景を知りたくて、地図帳で場所を調べてみた。たまたまその日、その作品の担当になり、子ども達の感想もあり、想像をふくらませることができた。
- ・自分自身が作品とじっくり向き合うこと、子供の声をできるだけ沢山聞き取ることにこころがけました。
- ・大規模校での鑑賞の際に人数制限のある展示室に入るのに待つ間、事前の話しかけは少し子供達が落ち着くので良かったと思いました。
- ・特別支援学校のクルーズができたのも、とても心に残りました。初めは目も合わず、こちらの言葉が届いているかな、と不安になりましたが、子どもからの言葉がなくても、だんだん心が近づいていって、側に寄り添えることができ、そっと手を握ってくれた時は、この子と仲間になれた！受け入れてもらえた！と思える瞬間でした。



## スタッフエッセイ：

### “2021年度のミュージアム・クルーズ”

新型コロナウイルス感染拡大防止に対応しながらミュージアム・クルーズ実施をする2年目となった2021年度。この1年を振り返り、ミュージアム・クルーズを通して見えたことを記したい。  
森 絵里花(プログラム・コーディネーター／ミュージアム・クルーズ担当)

2021年度はミュージアム・クルーズが「なかなか始まらない」年であった。年度が変わる2021年3月に学校と日程調整をした段階では、「コレクション展1 Inner Cosmology」に合わせて前期を6月中旬から7月中旬に、夏休みを挟んで後期を9月初旬から11月初旬とし、学校が来館する予定だった。しかし、結果として今年度の学校来館は10月頭からスタートすることになり、「コレクション展2 BLUE」を含めた会期の設定となった。その理由としては石川県による「石川緊急事態宣言」、政府による「まん延防止等重点措置」を踏まえ金沢市の指示により美術館の主催展覧会が休止となったことが大きい(5月31日-6月13日、7月31日-9月30日に休館)。ミュージアム・クルーズでは子どもたちが来館する前にクルーズ・クルーの説明会や研修を行い、先生の会場事前視察を行っている。大人の準備ができていないと、美術館が開いていてもすぐには子どもたちを招待することができないのだ。最初の休館(5月31日-6月13日)が決まった際に6-7月の学校来館を延期し9-10月と11月-1月に振り替え、クルーズ・クルー研修を7-8月に実施することにした。しかし感染が再拡大し、再度休館(7月31日-9月30日)。9月に来館を予定していた学校を再度振り替え、10月から2月の日程で再調整をした。

そして3月上旬にはオミクロン株が猛威を奮った。小学校の休校も相次ぎ、石川県を含めて多くの地域で「まん延防止等重点措置」が発出され、教育委員会から校外学習を延期するよう通達が出された(1月24日-3月22日)。1月下旬から2月上旬に来館予定だった学校を年度内に振替ができるかカレンダーを睨む日々を送り、展示替えの内容を踏まえたガイドマップの修正シールも作成していたが、やむなく延期ではなく中止となる学校が出てしまった。昨年も特別支援学校で中止判断をした学校があったが、今年は750人以上の児童が来館できなくなった。この規模で中止となったことは小学4年生を招待するようになった2006年度以来、初めてのことだ。中止校にどのようなフォローができるかを考えると共に、次年度はこのようなことがないことを祈るばかりだ。

## 人との関わりの経験

今年の4年生は中学年の2年間を様々な制限下で過ごしている。「いろいろな行事がなくなったけど、ミュージアム・クルーズはあるねと先生同士でも話しているんです」と検討委員の先生が言ってくださったのも2年目だ。そのため私も「美術館で作品を鑑賞する体験」としてだけでなく、まず「校外学習の機会」になるのだと意識するようになった。学校来館シーズンが始まってから、子どもたちを見ていると全体的な傾向として例年に比べて「他の人とのかかわり」の経験を積んでいないような様子が見られた。例えば、クルーズ・クルーと1対1で感想を話すことはできても同じ班の友達の意見を一緒に聞いて考えを膨らませていくことが難しい、前にいる人の話が通らず整列や移動などに時間がかかるなどだ。これらは年の後半になるにつれ、徐々にまとまるようになってきた。クルーズ・クルーの経験値の向上、クルーや級友とのかかわりを大事にしてほしい旨を会場事前視察で伝えた上での先生の事前指導、展覧会の切り替わりとプログラム目線での工夫や変化もあるが、おそらくグループ学習などが学校でできるようになってからの小学4年生の数ヶ月の成長の幅が大きいのだろう。もちろん、子どもたちが子どもたちらしく美術館で自由のびのびと過ごしてもらうのが大前提だ。しかし、子どもたちが日々学んでいることは教科の学習だけでなくコミュニケーションやふるまい方も大事なことで、それは行事や遊びも含めて育まれていること、「ミュージアム・クルーズ」もそういったことを学び成長する機会であることを先生やクルーとも共有していきたい。

## 初来館の機会

今年の子どもたちへのアンケートでは、39.1%と約4割が「まるびいに初めて来た」と回答した(市内小4児童約4000人のうち、1月までに来館した47校2,702名を集計)。この割合は、近年増えている。

2011年度は25%、2012年から2019年度は27%～30%程度で推移していたものが昨年は34.2%となり、今年の39.1%となった。今年の小学4年生は2011年生まれだ。彼らが物心がつく頃には2015年の新幹線開業後で保護者も観光地が賑やかな金沢の様子を目の当たりにしているだろう。そういったオーバーツーリズム気味な街の様子やこの2年間のコロナウイルスによる社会環境などが初来館率の値の上昇に繋がっているのかは明らかにできないが、ミュージアム・クルーズでの来館が自分の住む街の現代美術館への来館機会としてより重要性を増していると言えるのではないだろうか。

## 鑑賞を深める

一方で、鑑賞の質をどのように維持するかも課題だ。今年度の学校関係者アンケートでは43校中、36校が図工の授業または図工授業+他の授業として来館した。感染拡大防止のため昨年度から子どもたちは3-4人の小グループで行動し、クルーズ・クルーが各展示室で待ち受ける形をとっている。これにより、子どもたちが主体的に行動する点、クルーズ・クルーの役割を拡大できたという点では新しい可能性が見えた。その一方で学校関係者アンケートの中に「1グループに1人クルーさんがついて欲しい」という声が挙がったり、クルーズ・クルーアンケートに「展覧会全体と一緒に見られた時の方が他の作品との繋がりや、子どもそれぞれの鑑賞の深まりが感じられた」「自分が担当した部屋の作品は印象に残っているが、担当していないと思いつけない。以前は全ての作品を楽しめた」という声もあった。展示室の中にたくさんのグループがいてクルーは1人という場面ではクルーも他のグループが気になったり、子どもがクルーに話しかけられないのではと感ぜられるのも頷ける。この状況下で安定的にプログラム運営をする上では次年度も今年度のような形式をベースに検討を進めることになるだろう。ただ、クルーの存在をきっかけに「級友同士で作品を見て感じて話す」ことができている場面もたくさんあるのだ。保護者や知人友人と美術館に再度

来館した時に、作品を通じて自然と対話ができる、そんな人たちが金沢に育つのは希望でもある。クルーを見ているも「子どもの一言を出発点に話せた」経験がある。作品を見る順番も時間もコントロールせずに、目の前の子どもからぼっと出てきた言葉や動きを受け止めてリアクションを返すのは簡単なことではない。でも、その時間を経験し、大切にする大人がいることもまた街にとっては財産ではないか。指導要領の解説の中にも、子どもが主体的に鑑賞する内容になっているか、大人の価値観の押し付けになっていないか、言語活動が充実しているかがポイントとしてあげられている。これらも踏まえ、プログラム担当として、今後も事前指導のポイントやクルー研修、支援ツールなど複数のアプローチをしたい。

改めて今年を振り返ると、「中止」ではなく「延期」にできないかと諦めずに調整し続ける年だった。これは、昨年や今年の検討委員会や学校の先生のアンケートに背中を押してもらったことも大きい。「お出かけできる!と子どもたちはとにかく楽しみにしてたんです」「いつもよりも子どもたちが生き生きしています。来てよかったです」という言葉は力をくれた。学校の先生やクルーズ・クルーはもちろん、学校への送迎をするバス会社の担当者、鑑賞支援ツールを制作するデザイナーやクリエイターなど度重なる延期にもかかわらず調整してくれた方々がいたからこそ、ミュージアム・クルーズを実施できたのだと実感した1年だった。





## 展覧会概要

### 「コレクション展1 Inner Cosmology」

展覧会会期：2021年6月15日(火) - 11月3日(水・祝)

会場：金沢21世紀美術館 展示室1-6

#### 出品作家

ジャンン・ダグデレン、モートン・フェルドマン\*、ファブリス・イベル、加藤泉、草間彌生、アナ・メンディエータ、向井山朋子+レニエ・ファン・ブルムレン\*、シリル・ネシャット、ゲルハルト・リヒター、ピピロッチェ・リスト、武田竜真\*、ボグラールカ・エーヴァ・ゼレーイ\*

## 2021年度 クルーズ・クルー（63名 50音順、敬称略）

石黒 実結、井波 和香子、今村 良栄、鷗沢 一子、梅田 美枝子、遠藤 カヨ、大石 睦子、太田 紗希、大辻 尚美、小野 楓佳、柿本 みづほ、数馬 愛加里、加藤 寛隆、川田 菜々子、河村 江津子、木浦 玲子、喜多久恵、黒瀬 真美子、小室 正子、斎藤 節子、桜井 美幸、筱岡 郁枝、高井 ひとみ、高岡 幸子、高木 寿美子、高木 布喜子、武野 一雄、竹林 あおい、多田 明加、多田 美幸、多長 桂子、棚部 芹、谷村 文、塚本 浩子、

## 金沢21世紀美術館維持会員

SANAA 事務所	三谷産業株式会社
米沢電気工事株式会社	スーパーファクトリー
ナカダ株式会社	株式会社エイブルコンピュータ
金沢市農業協同組合	株式会社中島商店
株式会社福光屋	株式会社橋本確文堂
ヨシダ宣伝株式会社	ヨシダ印刷株式会社
金沢信用金庫	株式会社北都組
株式会社総合園芸	金沢市一般廃棄物事業協同組合
西日本電信電話株式会社金沢支店	金沢商工会議所
株式会社ヤギコーポレーション	株式会社竹中工務店北陸営業所
株式会社北國銀行	一般社団法人石川県鉄工機電協会
一般社団法人金沢建設業協会	大村印刷株式会社
ニッコー株式会社	石川県勤労者文化協会
医療法人社団 健真会 耳鼻咽喉科安田医院	前田印刷株式会社
株式会社メープルハウス	株式会社うつのみや
株式会社マイブックスサービス	公益社団法人金沢市医師会
公益財団法人金沢勤労者福祉サービスセンター	連合石川かなざわ地域協議会
株式会社浦建築研究所	株式会社金沢環境サービス公社
金沢中央農業協同組合	株式会社日本海コンサルタント
株式会社グランゼーラ	株式会社アイ・オー・データ機器
まつだ小児科クリニック	石川県中小企業団体中央会
公益財団法人高岡市勤労者福祉サービスセンター	能登印刷株式会社
アルスコンサルティング株式会社	株式会社金沢舞台
しま矯正歯科	北陸名鉄開発株式会社
協同組合金沢開屋センター	高桑美術印刷株式会社
一般社団法人MuU	株式会社浅田屋

\*=金沢21世紀美術館のコレクション以外からの出品

### 「コレクション展2 BLUE」

展覧会会期：2021年11月20日(土) - 2022年5月8日(日)

会場：金沢21世紀美術館 展示室1-6、カプーアの部屋、レアンドロのプール、タレルの部屋

#### 出品作家

通期（2021年11月20日-2022年5月8日）

レアンドロ・エルリッヒ、石田尚志\*、アニッシュ・カプーア、ローズマリー・ラング、ピーター・ニューマン、志賀理江子、ジェームズ・タレル

前期A：2021年11月20日～2022年2月20日  
リュック・タイマンズ、イー・イラン

前期B：2021年11月20日～2022年3月27日  
舟越桂、塚田美登里

後期A：2022年2月22日～5月8日  
フランシス・アリス、福本潮子、杉本博司

後期B：2022年3月29日～5月8日  
ヤン・ファーブル、石田尚志\*（公開制作作品）

辻 桜乃、寺内 亜紀子、寺尾 ユリ子、富田 洋子、豊蔵 健夫、直江 碧海、中尾 智子、中谷 恵理、中村 繪、西 久美、西野 文子、橋本 和栄、林 朋子、平川 愛、古本 晶子、前 外喜子、福田 外喜子、松本 収子、松田 伊佐枝、三浦 稔生、美甘 絵理、南 芳弘、宮丸 静夫、向井 淳子、村井 淑子、八幡 陽子、山本 悦子、吉野 陽子、和田 伸子

北菱電興株式会社	株式会社 大和
株式会社四緑園	アムズ株式会社
株式会社橋本清文堂	株式会社 あまつぼ
カナカン株式会社	ヨシダ道路企業株式会社
株式会社かゆう堂	株式会社金太
株式会社バルデザイングループ	イワタニセントラル北陸株式会社
石川県ビルメンテナンス協同組合	末広フーズ株式会社
横浜エレベータ株式会社	北陸スカイテック株式会社
株式会社ほくつう	辻商事株式会社
株式会社グッドフェローズ	森平舞台機構株式会社
日本海警備保障株式会社	アズビル株式会社
株式会社金沢商業活性化センター	株式会社五井建築研究所
株式会社加賀鞋不室屋	金沢セメント商事株式会社
べにや無何有	ホクモウ株式会社
日本ケンブリッジフィルター株式会社	医療法人社団映寿会
日機装株式会社	合同会社 鮎みつ川
横河電機株式会社金沢事業所	株式会社山田写真製版所
有限会社美善クリーンサービス	株式会社ユニークボジション
株式会社インプレス美術事業部	株式会社銀冶商店
株式会社甘納豆かわむら	株式会社東急ハンズ金沢店
ArtShop 月映	坪田 聡
株式会社アドバンス社	林橋舎アップルカンパニー
金沢ターミナル開発株式会社	アイバブリッシング株式会社
株式会社計画情報研究所	株式会社ホクスイ
株式会社ビー・エム北陸	株式会社コネル金沢
一般社団法人石川県繊維協会	

（2022年2月現在）

2021年度

金沢市内小学4年生全児童招待プログラム

「ミュージアム・クルーズ」

—

主催：金沢21世紀美術館〔公益財団法人金沢芸術創造財団〕

共催：金沢市教育委員会

助成：金沢ライオンズクラブ

検討委員：荒木千晶、加納亜紀、野川美紀

（金沢市立小学校教諭3名、50音順）

—

金沢21世紀美術館スタッフ：

〔ミュージアム・クルーズ担当〕森 絵里花、山下樹里

〔展覧会担当〕コレクション展1：立花由美子

コレクション展2：横山由季子

〔プログラム・アシスタント〕飯田崇子、池田夏希、

佐々木修吾、竹村菜穂美、門馬冬音

〔インターンシップ研修生〕遠藤加央里

ミュージアム・クルーズガイドブック 2021-2022

MUSEUM CRUISE GUIDE BOOK 2021-2022

—

編集：森絵里花、山下樹里

編集補：飯田崇子、佐々木修吾、竹村菜穂美、門馬冬音

デザイン：原田祐馬、西野亮介、田中千晶（UMA/design farm）

—

発行日：2022年3月31日

発行：金沢21世紀美術館〔公益財団法人金沢芸術創造財団〕

〒920-8509 石川県金沢市広坂1-2-1

禁無断転載

No part of this document may be reproduced in any form or by any means.

©2022 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

All rights reserved.

ISBN 978-4-903205-99-1





金沢 21世紀美術館  
21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa